

CADPAC-CREATOR 3D V7.5 リリースノート

- **SIM (センチネル・プロテクタ) ドライバーのインストールについて**

Windows 2000/XP Professional で、コンピュータに初めて CADPAC-CREATOR 3D をインストールする場合は、CD-ROM を起動して SIM のドライバーをインストールする必要があります。
ネットワークの CD-ROM ドライブを使ってインストールしている場合は、必ずドライブに割り付けてください。

- **ライセンスファイルについて**

CADPAC-CREATOR 3D を実行するには、ソフトウェアをインストールしたディレクトリの直下に、専用のライセンスファイルが必要になります。CADPAC-CREATOR 3DV7.5 のライセンスファイルは、同梱されている「CADPAC-CREATOR 3D Version7.5 License File Install」の CD-ROM をセットしてください。自動的に立ち上がりますので、「次へ」を押し、実行してください。インストール先の選択で CADPAC-CREATOR 3DV7.5 をインストールしたフォルダが指定されているか、ご確認ください。

バージョンアップのユーザ様は、別紙「[KC7.5 へのバージョンアップ手順](#)」をご覧ください。

- **オンラインヘルプ 既知の不具合【1】**

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンは現在機能していません。クリックしても自動的にオンラインヘルプは開きませんので、メニューバーのヘルプ：目次をクリックし、目的のコマンドを参照してください。

- ・ ツール：要素確認：マスプロパティ：オプションダイアログボックス
- ・ ツール：要素確認：抜き勾配角

- **オンラインヘルプ 既知の不具合【2】**

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンをクリックすると、別のコマンドのヘルプページが参照されます。

- ・ 寸法：注記：キー入力 寸法：設定：パラメータが開く
- ・ 寸法：注記：ラベル 寸法：設定：パラメータが開く
- ・ ツール：部品表(BOM)：表のみ作成 レイアウト：投影図作成が開く
- ・ ツール：部品表(BOM)：パースナルオブジェクト BOM：部品表作成が開く

- **オンラインヘルプの注意事項**

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンからは、同じ内容のダイアログボックスを持つ別コマンドのオンラインヘルプページが参照されます。これは仕様ですが、混乱のないようご注意ください。

形状修正：フィーチャ：フィーチャ抑制
作図：ソリッドフィーチャ：フィーチャ検出 を参照します。

形状修正：フィーチャ：板金曲げ変更
作図：ソリッドフィーチャ：板金曲げ作成 を参照します。

- **レンダリング表示がおかしい時**

ツール：オプション：表示のタブにあるグラフィックタイプを、ソフトウェア OpenGL にして CADPAC-CREATOR 3D を再起動してください。

- **アンチエイリアス処理**

ツール：オプション：表示のタブにあるグラフィックタイプに、アンチエイリアスの項目があります。このアンチエイリアスはエッジのギザギザ感を軽減するためのグラフィック表示処理ができるのですが、ご使用のグラフィックカードにより、画面の表示がおかしくなる場合があります。ハードウェア OpenGL を選択した状態でアンチエイリアスを使用しないでください。

- **PDF 読込、CSV 読込について / 注意事項**

ファイル：読み込み：PDF 読込、CSV 読込が追加されましたが、現在サポートされておりません。

- **NC 加工について / 注意事項**

荒加工：周回荒加工、仕上げ加工：周回仕上げ加工は現在動作しません。

- **外部変換の正式対応バージョン（太字は機能アップした部分です）**

ファイル形式	サポートバージョン	データ変換	アセンブリファイルの読込
ACIS	1.5 – R18 まで	読込 & 書出	該当せず
CATIA V4	4.1.9 - 4.2.4	読込 & 書出	No
CATIA V5	V5 R2 - V5 R18	読込	Yes
	V5 R6 - V5 R18	書出	該当せず
DWG/DXF	2007 までの全 Version	読込	No
	R12 - R14, 2000/2002, 2004 - 2006	書出	No
IGES	5.3 まで	読込	Yes
	5.3	書出	該当せず
Autodesk Inventor	6 – 11, 2008	読込	Yes (2008 のみ)
Parasolid	10.0 - 18.0.141	読込	Yes
	12.0 - 18.0.141	書出	該当せず
Pro/E	16 - 2001, Wildfire1 - 3	読込	Yes
Solidworks	96 - 2007	読込	Yes
STEP	AP203, AP214	読込	Yes
	AP203, AP214	書出	該当せず
Unigraphics	11 - 18、NX1, NX2, NX3, NX4, NX5	読込	Yes
CADL 19	ImageModelor まで	書出	該当せず

上位バージョンで作成した CADPAC-CREATOR 3D のファイルは、下位バージョンで開くことはできません。

CADPAC-CREATOR 3D V7.5 新機能

各機能、使い方の詳細はオンラインヘルプの「CADPAC-CREATOR 3D V7.5 新機能」をご覧ください。

データ変換

- **DXF/DWG 読み込みオプションに「AutoCAD 詳細設定を読み込み」ボタンを追加**
(ファイル：読み込み：AutoCAD DXF、DWG)
読み込みオプションに「[AutoCAD 詳細設定を読み込み](#)」ボタンを追加しました。チェックが付いている場合、CADPAC-CREATOR 3D 寸法オプションダイアログ (寸法：設定：パラメータ) にある設定を AutoCAD の寸法オプションに適するように変更します。
- **共通読み込みオプションにトレライズを追加**
(ファイル：読み込み：IGES、STEP、Parasolid、Solidworks、Inventor、ProE、UG、Catia4/5)
上記の読み込みオプションダイアログの共通読み込みオプションのタブに、「問題のある要素を修正し、精度の低い要素をトレライズ」を追加しました。前バージョンの要素修正オプションに代わる設定です。
- **一括変換に HOOPS、U3D ファイルが追加**
(ファイル：一括変換)
一括変換のファイルの種類に、HOOPS メタファイル (*.hmf)、HOOPS ストリームファイル (*.hsf)、HOOPS ウェブページ (*.html)、U3D ファイル (*.u3d) を追加しました。
- **Inventor、UG 読み込みファイルの単位**
(ファイル：読み込み：Inventor、UG)
以前のバージョンでは、Inventor は CADPAC-CREATOR 3D に読み込まれると、単位系は mm に変換され、Unigraphics では、読み込み時にスケールオプションとして単位系の選択を指示していましたが、今バージョンから、読み込むファイルの単位系をそのまま採用するようになりました。

編集

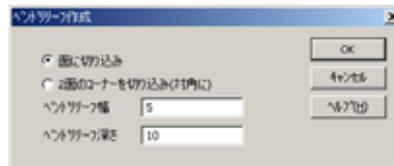
- **シェル要素にマスプロパティ計算を実行**
(編集：要素：材質のレンダリングプロパティ設定、ファイル：プロパティ：材質の物理プロパティ)
材質のレンダリングプロパティ設定や、材質の物理プロパティは、以前のバージョンではソリッド要素のみに有効な機能でしたが、本バージョンでシェル要素にも有効になりました。
- **材質のレンダリングダイアログを改良**
(編集：要素：材質のレンダリングプロパティ設定)
前バージョンではテクスチャ設定の下に、ジオメトリックマッピング、パラメトリックマッピング、縦横比の 3 つのラジオボタンがありましたが、本バージョンではダウリストから選択するようになりました。
材質のレンダリング設定アイコンを球または立方体かを選択し、表示できるようになりました。
また、「[名前を変更](#)」ボタンを追加し、必要な時に材質のレンダリング名を変更できるようになりました。

表示

- **レイアウトモードでライト機能が有効**
(表示：レンダリング：カメラライト、ライトマーカー、光度、ライト方向)
上記のライト機能が、モデルモードだけでなく、レイアウトモードでも有効になりました。
- **レベルリストやレベルのプロパティダイアログにコメント欄が追加**
(表示：コントロールバー：パートスプリッタ切替え、表示：プロパティ)
パートスプリッタ切替えで表示されるレベルリストの右端にコメントの列を追加しました。同時に、レベルプロパティダイアログにコメント欄が追加されました。
- **ツリーウィンドウにレイアウト内容を追記**
(表示：コントロールバー：ツリーウィンドウ)
ツリーウィンドウのレイアウト名の右横にレイアウト内容を追記します。

作図

- **板金ベンドリリーフ【新コマンド】**
(作図：ソリッドフィーチャ：板金ベンドリリーフ)
深さ、幅を指定し、ソリッドのエッジを選択すると、その指示したエッジに切り込みができます。また切り込みは丸い(Rのある)エッジで、指定した深さと幅でソリッドに突き出します。



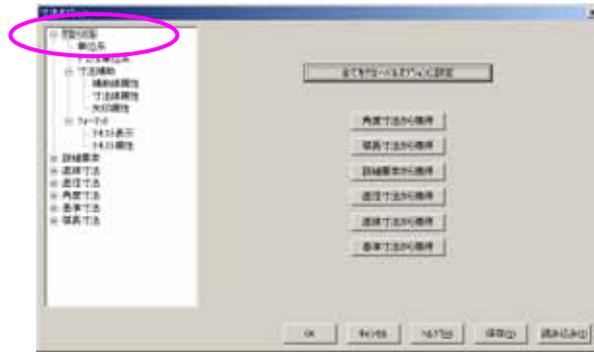
形状修正

- **ストレッチダイアログに連続性オプションを追加**
(形状修正：ボディワープ：ストレッチ)
ストレッチダイアログに G0-通常接続と、G1-接線接続のオプションを追加しました。
G0は、ストレッチしない部分の終端とストレッチ部分の始端がつながるようにします。G1は、ストレッチしない部分の終端がストレッチ部分の始端に接線で接続するようにします。
- **曲面延長ダイアログに距離オプションを追加**
(形状修正：サーフェス：延長)
曲面延長ダイアログに、距離入力欄を追加しました。

寸法

- **ハッチングパターンダイアログにオフセット欄を追加**
(寸法：ハッチング：作成)
通常作られるハッチングのライン(原点を通るライン)からオフセットした位置にハッチングを作成します。

- **寸法設定オプションダイアログに「グローバル」を追加**
 (寸法：設定：パラメータ)
 ダイアログに「**グローバル**」のツリーを追加しました。



グローバルのツリーは、ここ一箇所を設定すると他のツリーの設定に反映することが出来ます。「**全てをグローバルオプションに設定**」ボタンをクリックすると他のツリーに設定が適用されます。グローバルの設定が反映される項目は黄色で表示しています。グローバル以外の各パネルにおいて、設定項目の左側にあるチェックボックスを ON にしてからプルダウンリストを選択して下さい。

レイアウト

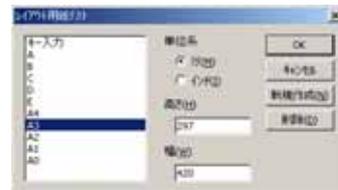
- **前のレイアウトを開く、次のレイアウトを開く【新コマンド】**
 (レイアウト：前のレイアウトを開く、次のレイアウトを開く)
 この機能は、2つ以上のレイアウトが存在する場合に有効です。これらの機能はレイアウトモード時のみに有効で、「前の」と「次の」はレイアウトを作成した順番で決まります。

- **ワイヤレンダリングモードのドロップダウンリストを追加**
 (レイアウト：レイアウトダイアログ、レイアウト：投影図作成)
 投影図作成ダイアログに、ワイヤレンダリングモードを追加しました。
 レンダリングモードでフラットシェーディング、またはスムーズシェーディングを選択すると、ワイヤレンダリングモードが利用できます。境界線の処理を選択して下さい。



- **レイアウトの図枠パスをディレクトリ選択に追加**
 (ツール：オプション：ディレクトリ選択のタブ)
 ディレクトリ選択のタブに「**レイアウトの図枠パス**」を追加しました。このパスは、レイアウトを作成する際に使用する図枠ファイルの場所を指示するものです。

- **レイアウトダイアログに用紙サイズの編集ボタンを追加**
 (レイアウト：レイアウトダイアログ)
 ダイアログの用紙サイズの横に「**編集**」ボタンを追加しました(以前は保存するのみ)。
編集ボタンをクリックすると、レイアウト用紙リストダイアログが表示され、その中で用紙サイズを変更したり、任意のサイズを指定することができます。



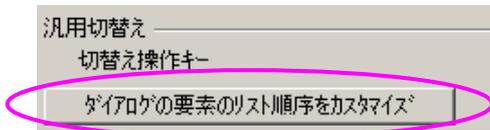
アセンブリ

- **アセンブリ書き出し【新コマンド】**
(アセンブリ：アセンブリ書き出し)
活性パートのアセンブリ構造を IGES、STEP、Parasolid、CatiaV5 のファイル形式へ出力します。

ツール

- **部品表機能の改良【新コマンド】**
(ツール：部品表 BOM：テンプレート作成、バーチャルオブジェクト)
テンプレート作成で保存したファイルは、テーブルデータをどのように書き込み作成するかを部品表作成で指示する時に利用します。また、バーチャルオブジェクトは、図示なしで部品表データベースオブジェクトを追加することができます。
- **部品表作成の改良**
(ツール：部品表 BOM：部品表作成)
部品表作成が改良され、いくつかの関連項目にオプションを追加しました。
- **簡易部品表が削除**
本バージョンで改良された部品表機能により不要になった為、簡易部品表を削除しました。
- **ジェスチャ【新機能】**
(ツール：カスタマイズ：ジェスチャのタブ)
特定の形状を表現するマウスの動きを記録し、インターフェイスコマンドを実行する為に使用します。ジェスチャのタブで設定し、それをツール：カスタマイズ：コマンドのタブ：ジェスチャの選択からキー設定します。
- **要素確認ダイアログの改良**
(ツール：要素確認)
前バージョンでは幅高が決まったダイアログにテキストで要素確認結果が表示されていましたが、本バージョンでは拡大可能なダイアログと、ツリーウィンドウの要素確認ツリーのタブにも表示され、より多くの要素情報を確認できるようになりました。
- **面積と図心機能の改良**
(ツール：要素確認：面積・図心)
要素確認ダイアログに「[図心を作図](#)」ボタンを追加しました。このボタンをクリックすると図心が計算され、パートに点が作成されます。また、図心の絶対座標値とビュー座標値を確認することもできます。
- **カスタマイズにビューポートメニューを追加**
(ツール：カスタマイズ：コマンドのタブ：ビューポートメニュー)
カスタマイズダイアログのコマンドのタブにビューポートメニューを追加しました。ビューポート上で右クリックをする時のポップアップメニューをカスタマイズし、頻繁に使うコマンドを素早く実行できます。

- **要素リストの順序がカスタマイズ可能**
 (ツール：オプション：選択のタブ：ダイアログの要素のリスト順序をカスタマイズ)
 「**ダイアログの要素のリスト順序をカスタマイズ**」をクリックするとダイアログが表示され、マスクダイアログや、要素数リスト内に表示される要素の順番をカスタマイズすることができます。



- **カスタム位置の設定を追加**
 (ツール：オプション：位置のタブ)
 スナップ位置をカスタマイズします。「**カスタム位置**」にチェックをし、「**追加**」ボタンをクリックします。絶対または作図面の XYZ 位置を指示すると、その位置でマーカがスナップします。削除または名前の変更も各ボタンから可能です。
- **スタンプ印字の設定オプションを追加**
 (ツール：オプション：プリンタプロッタのタブ：設定を編集：スタンプ印字のタブ)
 「**ペーパースタンプを印字する**」オプションを追加しました。この印字は出図する際に用紙の真ん中に印刷されます。

拡張機能

- **Qwins (CDE プログラム) の機能改良**
 Qwins アプリケーションに部品組立を搭載しました。また、CADPAC-CREATOR 3D 起動時に最初から Qwins のアプリケーションを表示させるようにしました。Qwins のコマンドは汎用性があり、マウス右ボタンをクリックすることで、オプションを多様に切り替えることができます。
- **輪郭線作成コマンド【新コマンド】**
 (Qwins：輪郭線作成)
 指示した要素群を交点で自動トリムし、輪郭線を作成します。従来はソリッド・サーフェス等を作成するには基となる「平面上の閉じた境界曲線」をあらかじめ分割や短縮延長で調整しておく必要がありましたが、このコマンドを使うとダイレクトに必要な輪郭線を作成することができ作業を短縮化できます。

